

第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）		健康課題・目標イメージ		21岐阜
6年後に達成する目標 （健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標）		被保険者・被扶養者の血圧リスク 該当者割合 （※）2%減　〔R4年度 47.6% →　R11年度 45.6% 〕		
↑		（※）血圧リスク該当者　：　血圧収縮期血圧検査値≧130、または拡張期血圧検査値≧85、または問診票にて服薬済みに該当する者		
健康課題の抽出				
●　情報系システムの定型レポート、Zスコア、支部別スコアリングレポート等の医療・健診データから支部の特徴や健康課題を確認し、戦略的保険者機能強化アクションプラン、事業計画、特定健康診査等実施計画のほか、都道府県健康増進計画や都道府県医療費適正化計画等との調和を図りつつ、対策を進めるべき健康課題を抽出する。				
現 状	背景、不適切な生活習慣 生活習慣病予備群 生活習慣病 重症化、要介護状態、死亡			
	■ 風土・気候：山地が多く、海がない、盆地のため寒暖差が大きい ■ 主な産業：第2次産業の割合が高い。製造業、医療・福祉、建設業（製造業品目全国1位の主なもの：陶磁器食器・包丁等・給排水用バルブ・木材家具） ■ 世帯の状況：1世帯当たり人員は2.49人と全国平均2.21人より多い　共働き率30.9%（全国8位） ■ 加入事業所数：39,468事業所（R5.9） ■ 被保険者数：456,140人（R5.9） ■ 被扶養者数：283,336人（R5.9） ・ 在留外国人数は全国13位（県人口17位の規模に対し高い、岐阜市・可児市に多い） ■ 食習慣：野菜摂取量　男性278g・女性251gと低い 食塩摂取量　県民の7割が塩分とりすぎ　男性9.7g・女性8.6g 塩蔵品、味噌・漬物文化 ■ 運動習慣：運動習慣改善要素保有者の割合73.6%（R4） ■ 喫煙状況：喫煙者の割合26.5%（R4）、地域差指数-0.045（R4）と全国より低い ■ 飲酒状況：飲酒習慣改善要素保有者の割合12.8%、地域差指数0.053（R4）と全国より高値（特に男性） ■ 睡眠・休息状況：睡眠で休養が取れていない者の割合39.8%、地域差指数0.068（R4）と全国より高値 ■ 特定健康診査実施率（被保険者・被扶養者） ■ 健康宣言事業所数：1,276事業所 ・ 世帯当たり自家用乗用車保有台数1.55台（全国8位） 資料：ぎふ県勢要覧、県民栄養調査 ■ 生活習慣病予防健診受診率：61.5%（R4） ■ 事業者健診受診率：14.8%（R4） ■ 特定健診受診率：28.9%（R4） ■ 保健指導実施率：26.3%（R4） ■ コラボヘルス宣言事業所数：1205件 ■ メタボリックリスク該当者割合：13.9%（R4） ■ 腹囲リスク該当者割合：31.7%（R4） ■ 血圧リスク該当者割合：47.6%（R4） （資料：情報系システム　支部基本情報　健診情報①　健診実施結果状況） ■ 入院外1人当たり医療費（調剤含む）：125,025円 ■ 入院1人当たり医療費：49,861円 資料：情報系システム　支部基本情報　医療費情報② 2-2疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度（入院外）：循環器系の疾患0.002（R2-R4） 資料：情報系システム　支部基本情報　二次医療圏別・市区町村別地域差 血圧リスク該当者割合：高い地域 西濃地域（揖斐川・大垣市・安八等） 東濃地域（瑞浪・恵那・中津川等） ■ 平均寿命（R2年度） 岐阜県 男性81.9歳（全国11位）、女性87.51歳（全国28位） ■ 死亡数(R4) 26,175人（男性13,436人、女性12,739人） ■ 死亡数の男女差(R4)　697人 ■ 死亡率(R4) 13.9（人口千対） ■ 死因別死亡割合： ①悪性新生物26.1%　②心疾患14.5%（R3）			
健 康 課 題	飛驒の山間部と岐阜・大垣の平野部を含み面積が広い。海がない。海拔0mの平野から3,000mを超える山々まで標高差が大きく、地域のより気候が異なる。 保存方法・名産品として、塩蔵品が多い。味噌、漬物をよく食べる。 輸送用機械器具製造業が多く、岐阜・中濃・東濃地域に高い割合 電気機械・窯業・金属製品・木材家具 航空機関連産業の従業員数は全国3位 経済産業省「R2 工業統計調査結果」 宿泊・飲食サービス業の割合が高い 県内産業別事業所数　3位　12.5% 世帯当たり自家用乗用車保有台数1.55台（全国8位）と多く、通勤等に自動車の使用割合が高い 塩分摂取量の多い者の割合が高い 睡眠で休養の取れていない者の割合が高い 飲酒習慣改善要素保有者の割合が高い 運動習慣改善要素保有者の割合が高い 交替勤務 肥満 高血圧 入院外1人当たり医療費の高い疾患 循環器系の疾患 （地域差）血圧のリスク該当者割合の高い地域 西濃地域 東濃地域 （業態別）血圧のリスク該当者割合の高い業種 道路貨物運送業 飲食料品以外の小売業 化学工業・同類事業 機械器具製造業 金属工業			
対策を進めるべき重大な疾患 （10年以上経過後に達するゴール）		岐阜支部における循環器系の疾患の入院外受診率を全国平均以下にする		

6年後に達成する目標 （健康課題を踏まえた検査値等の改善目標）			被保険者・被扶養者の血圧リスク該当者割合2%減 [R4年度 47.6% → R11年度 45.6%]（情報系システム）			
年度	R 6	R 7	R 8（中間評価）	R 9	R10	R11（最終評価）
目標	47.4%	47.1%	46.7%	46.3%	45.9%	45.6%

- 上記目標における各年度の結果に対する評価、要因検証等を行い、今後の対策を整理する。
- ※1）自己評価欄は、下記を目安に判断し、A B C Dで評定すること
A：目標値の120%以上 B：目標値の100%以上120%未満 C：目標値の80%以上100%未満 D：目標値の80%未満
- ※2）記入欄が不足する場合は行を追加すること。なお、列の追加、幅の調整は行わないこと。

R 6	目標	47.4%	実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策	【要因検証】 ●上期の血圧リスク該当者割合は47.9%。計画策定時（R4年度）から0.3%増となった。下期が終わった段階で血圧リスク該当者割合の変化を経年と比較して見る必要があると考える。 ●上期は関係機関との連携を図ることを起点に動き始めたところであるが、外部機関への施策の提案に留まっている。 【今後の対策】 ●KPIが未達成である健診・特定保健指導の実施率改善に取り組む。血圧リスク該当者割合が高い、道路貨物運送業に介入すべく、関係団体（中部運輸局・トラック協会等）と連携調整を進める。				
R 7	目標	47.1%	実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 8	目標		実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 9	目標		実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R10	目標		実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R11	目標		実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					

- 次頁より、各分野のK P Iに加え、地域・職域において重点的に予防・改善すべき疾患、当該疾患を予防・改善するために着目すべき健診項目、着目した健診項目の検査値に影響を及ぼしている生活習慣、当該生活習慣を改善するためにどのような対象者にどのようなハイリスクアプローチ及びポピュレーションアプローチを行うかを整理し、個々の取組、具体策及び目標値を計画に記載する。
- ※3）個々の取組における具体策は、実施年度の支部事業計画に記載すること。
- ※4）取組欄を追加する場合は、取組欄（行）をコピーして使用すること。また、記入欄が不足する場合は行を追加すること。なお、列の追加や幅の調整は行わないこと。
- ※5）K P I達成に向けた取組や具体策は、本計画には記載せず、実施年度の支部事業計画に記載すること。
- また、各年度の終了後には、取組の目標における各年度の結果に対する評価、要因検証等を行い、今後の対策を整理する。

健診											
K P I ①	生活習慣病予防健診実施率	目標値	各年度の K P I	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11		
		実績		66.5%	68.3%						
K P I ②	事業者健診データ取得率	目標値	各年度の K P I	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11		
		実績		15.8%	15.8%						
K P I ③	特定健診実施率（被扶養者）	目標値	各年度の K P I	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11		
		実績		32.1%	32.1%						
要 因 の 検 証 策・ 今 後	R 6	【要因検証】①R6.10時点で昨年同月比5.3%受診者増。R6.7の個人宛DM発送、委託機関による事業所あて電話勧奨、健診機関から事業所への営業が寄与していると考えられる。②R6年度より委託業者を活用したデータ取得にシフト。様式変更やタイムラグの発生により、R6.10時点で取得件数が昨年同月比17%程度減。③おてがる（集団）健診の実施回数およびDM送付件数増加により、R6.10時点で受診者数が昨年同月比2.2%程度増。 【今後の対策】①主にドックや付加健診にフォーカスしたDM（個人・事業所あて）の実施を中心に受診者増を図る。②令和7年度に向けては、早期に目標件数を取得できるよう仕様の修正を行う。③DMの構成変更やオプション健診の追加、特別な会場（ホテルなど）での健診により、受診者増を図る。									
	R 7										
	R 8										
	R 9										
	R10										
	R11										
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか											
No.	健 ー 1	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 （期間）	R6年度 ～ R8年度						
取組名称	健診実施率が低い西濃地域（二次医療圏）における健診実施率改善に向けた取組			評価指標	西濃地域における健診実施率 （情報系システム 健診実施結果状況 西濃地域）						
				目標値	67.5%	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11
				実績							
取組の目的 及び具体策	西濃地域は特定健診実施率（加入者）が65.0%と低く（県内66.6% 2022年）、かつ血圧リスク該当者割合49.3%と高い（県内47.6% 2022年）。 そのため、以下の取り組みを行う。 ① 実施率の低い事業所を特定し、個別に文書送付及び訪問勧奨を行う。 ② 健診機関が少ないエリアにおいて集団健診を広報するなど、エリア全体で実施拡大を図る。 ③ 健診機関と連携し、生活習慣病予防健診の実施勧奨（定期健診の場合は生活習慣病予防健診への切り替え）を行う。										
要 因 の 検 証 策・ 今 後	R 6	【要因検証】①、②西濃地域を含む、県内全域の個人あてに生活習慣病予防健診（集団健診）DMを送付。健診機関の施設を含む、西濃地域での集団健診回数およびDM送付件数を増加させたこと、③健診機関の渉外担当を通じて、生活習慣病予防健診の推進を実施。R6年度より実施拡大した付加健診をPRすることにより、受診者増に繋がったと考えられる。 【今後の対策】①、②西濃地域の健診未利用事業所及び未受診者へDMによる受診勧奨を実施する。③健診機関の担当者を通じて、生活習慣病予防健診の利用を促す（R8の人間ドック拡大を含む）。									
	R 7										
	R 8										
	R 9										
	R10										
	R11										

No.		健 ー 2	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度 ～ R8年度						
取組名称		血圧リスク該当者割合が高い西濃地域の被扶養者に対する特定健診受診勧奨			評価指標	西濃地域における特定健診受診率 (情報系システム 健診実施結果状況 被扶養者 31.1% 2022年)						
					目標値	35.0%	R 6 32.1%	R 7 33.5%	R 8 35.0%	R 9	R10	R11
					実績							
取組の目的 及び具体策		被扶養者の特定健診受診率が低く（28.2% 2022年/25.8% 2021年）かつ、血圧リスク該当者割合が高い（43.6% 2022年/47.7% 2021年）西濃地域において、以下の取り組みを行い実施拡大を図る。（県内平均 被扶養者特定健診受診率29.6%、血圧リスク該当者41.1% 2022年） ① 市町村と連携し、特定健診と同時にがん検診を実施する。 ② 健診機関と連携した集団健診を実施する（有料オプションの付加）。										
要 因 の 検 証 策・ 今 後	R 6	【要因検証】市町村と連携し協会けんぽ主催の集団健診案内DMにがん検診の案内を併記し、市町村の窓口やがん検診の予約先を掲載した。また、協会けんぽ主催の集団健診案内DMに有料オプション項目について広く紹介した。これらにより昨年同時期に比べて受診率が増えたと考える。 【今後の対策】県を通じて市町村向けアンケートを実施し、特定健診とがん検診の同時実施に向けて意欲がある市町村から優先的に地道に働きかけしていくこととする。有料オプションを付加した協会けんぽ主催の集団健診が実施件数を伸ばしているため、引き続き実施していく。										
	R 7											
	R 8											
	R 9											
	R10											
	R11											

特定保健指導											
K P I ①		特定保健指導実施率（被保険者）	目標値	各年度の K P I	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	
			実績		32. 9%	34. 2%					
K P I ②		特定保健指導実施率（被扶養者）	目標値	各年度の K P I	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	
			実績		35. 9%	25. 3%					
要因 後の 検証 策・	R 6	【要因検証】①については、R6.10時点で昨年同月比19.7%実施率増。直営の指導者が昨年より1名増となったこと、健診実施機関に健診日当日の初回面談実施の働きかけを行い、健診日当日の実施数が増えてきたことが要因であると考えられる。②については、初回面談数がR6.10時点で昨年同月比12.0%増加。おてがる健診（集団健診）における健診日当日の保健指導の実施数増加が要因と考えられる。 【今後の対策】R7年度は実施件数が多い健診実施機関に対し、巡回健診時の健診日当日の初回面談実施を働きかけることで、実施件数増加を図る予定。									
	R 7										
	R 8										
	R 9										
	R10										
	R11										
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか											
No.	指 ー 1	アプローチ 方法	両方	実施年度 （期間）	R6年度 ～ R11年度						
取組名称	道路貨物運送業における特定保健指導の推進			評価指標	道路貨物運送業における特定保健指導の実施率 （保健事業システム 道路貨物運送業 被保険者特定保健指導実施者数(評価)/被保険者特定保健指導対象者6.0% 2022年）						
				目標値	15.0%	R 6 6.5%	R 7 7.0%	R 8 7.5%	R 9 10.0%	R10 12.0%	R11 15.0%
				実績							
取組の目的 及び具体策		「道路貨物運送業」の特徴として、収縮期血圧/拡張期血圧・喫煙者・特定保健指導対象者の割合が高い（2022年度特定健診データの業態別特徴の要約）、喫煙習慣あり・運動習慣なし者・就寝2時間前内夕食あり者/朝食を抜く習慣あり者・睡眠で休養十分ではない者の割合が高い（2022年度質問票データの業態別特徴の要約）ため、以下の取り組みを行い推進を図る。 ①特定保健指導の推進に向けて、R6年度より関係団体（中部運輸局、トラック協会等）との連携 ②幹部職員による関係団体・大規模事業所への訪問勧奨 ③健診機関に対し、健診当日に初回面談が実施できる体制（巡回健診車での人員・場所等）確保の働きかけ ④道路貨物運送業の事業所に対し、健診当日の初回面談（分割）実施の推進									
要因 後の 検証 策・	R 6	【要因検証】①については、関係団体と協議し、連名文書を作成中。②について、大規模事業所への訪問(1事業所)を実施し保健指導の必要性を説明した。 【今後の対策】①②④連名文書の内容確認のうえ文書勧奨を実施予定。反響をみながら、訪問勧奨を実施する。③について、巡回健診での当日実施の働きかけを行うとともに、ICT面談への誘導業務を委託する予定。									
	R 7										
	R 8										
	R 9										
	R10										
	R11										

No.		指 ー 2	アプローチ 方法	ハイリスクアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度 ～ R11年度						
取組名称		東濃地域の血圧リスク該当者割合に着目した特定保健指導の実施			評価指標	東濃地域の血圧リスク該当者割合 (情報系システム 健診実施結果状況)						
					目標値	岐阜支部平均 47.6%	R 6 49.9%	R 7 49.5%	R 8 49.0%	R 9 48.5%	R10 48.0%	R11 47.6%
					実績							
取組の目的 及び具体策		当支部は血圧リスク該当者割合が全国平均より高い。岐阜支部全体の血圧リスク該当者割合は（47.6％）であるが、その中で特に東濃地域（50.2％）が高い状況にある。また、食習慣として食塩摂取量が多い、運動習慣改善要素保有者の割合が高い、睡眠で休息が取れていない者の割合が高いなど血圧リスクに結びつく生活習慣がある。そのため、以下の取り組みを行い実施拡大を図る。 ①東濃地域における特定保健指導の委託健診機関の実施率拡大の推進 ②委託健診機関に対して研修会等を実施し、認識の共有・血圧リスク者へ効果的な保健指導ができるように支援を行う。										
要 因 の 検 証 ・ 今 後 の 対 策	R 6	【要因検証】①について、直営の指導者がいない地域について、委託専門業者が訪問やオンラインで対応できるよう体制を整備。②健診実施機関と支部指導者の合同勉強会を下期に実施予定。 【今後の対策】①について、R7に向けて地域（東濃・中濃/飛騨・西濃/岐阜）を分割した特定保健指導の委託を予定している。細分化することで東濃地域に対して、特定保健指導の実施拡大を図る。										
	R 7											
	R 8											
	R 9											
	R10											
	R11											

重症化予防												
K P I ①		未治療者への受診勧奨による医療機関受診率			目標値	各年度の K P I	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
					実績		11.0%					
要 因 の 検 証 策・ 今 後	R 6	【要因検証】 勧奨後3ヶ月間の受診率（1次・2次）17.0%、 勧奨後3ヶ月間の受診率（2次のみ）23.7%、健診後10ヶ月間の受診率（累計）37.0%、前年と比較し健診後の受診率が向上している。 【今後の対策】 一次勧奨対象者を拡大（R6.10月勧奨[R6.4受診分]より事業者健診、特定健診を勧奨対象とした）し、支部からの受診勧奨も拡大予定。										
	R 7											
	R 8											
	R 9											
	R 10											
	R 11											
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか												
No.	重	1	ア プ ロ ー チ 方 法	ハイリスクアプローチ	実施年度 （期間）	R6年度 ～ R8年度						
取組名称	二次勧奨対象者の割合をR5年度末時より減らす				評価指標	二次勧奨対象者の割合 （保健事業システム 未治療者受診勧奨二次該当者割合 20.3%）						
					目標値	16.0%	R 6 19.0%	R 7 17.5%	R 8 16.0%	R 9 -	R 10	R 11
					実績							
取組の目的 及び具体策	岐阜支部は血圧リスク保有率が高い。循環器疾患の予防としては、動脈硬化予防が重要であることから、血圧のみならず複数リスクが要因となる。そのため、二次勧奨対象者に重点を当てた取り組みを行う。（評価指標：年度の二次勧奨対象者/一次勧奨対象者） ※二次勧奨対象者とは、＜基準該当①次の項目のうち、1つ以上該当するもの＞血圧180/110mmHg 以上、血糖空腹時血糖160mg/dl以上、HbA1c8.4%以上 ＜基準該当②次の項目のうち、2つ以上該当するもの＞血圧160/100mmHg 以上、空腹時血糖126mg/dl以上、HbA1c6.5%以上、脂質LDLコレステロール180mg/dl以上 ①対象者の受診行動を後押しする訴求力のある勧奨文書（岐阜県と共同で作成）と医療機関の一覧を送付し、受診勧奨を行う ②対象者が健康診断を受診した健診機関から電話で受診勧奨を行う。 ③協力いただけない健診機関分については、協会けんぽ等保健師から電話で受診勧奨を行う											
要 因 の 検 証 策・ 今 後	R 6	【要因検証】 二次勧奨対象者の割合 20.9%（R6.4月～R6.9月勧奨分）。短期的な要因は不明。 【今後の対策】 引き続き二次勧奨対象者に重点を置き、文書勧奨や電話勧奨を実施する。また、県に働きかけを行い、協力してCKD・糖尿病移行者を減少させる取り組みを行う。										
	R 7											
	R 8											
	R 9											
	R 10											
	R 11											

No.		重	—	アプローチ 方法		実施年度 (期間)	～						
取組名称						評価指標							
						目標値		R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11
						実績					-		
取組の目的 及び具体策													
要 因 の 検 証 ・ 今 後 の 対 策	R 6												
	R 7												
	R 8												
	R 9												
	R10												
	R11												

コラボヘルス													
K P I ①		宣言事業所数 (新規健康宣言事業所を年度で300件増やす/2023年12月時点 約1280件)			目標値	各年度の K P I	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	
					実績		1,570件	1,620件					
今要 後の 因検 証策・	R 6	【要因検証】業態別に毎月文書による勧奨を上期で合計3,616件実施。また、広報誌やメルマガ、ホームページ、セミナーなどで健康宣言を広報。その結果、宣言事業所数が154件増加。 【今後の対策】宣言事業所増加に向けて文書勧奨を継続。ただし、文書勧奨による申込率が約2%程度のため、案内文書の見直しを行う。											
	R 7												
	R 8												
	R 9												
	R10												
	R11												
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか													
No.	コ	ー	1	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度 ～ R11年度						
取組名称	「運動習慣の定着」または「メンタルヘルス対策」に取り組む宣言事業所の拡大					評価指標	「運動習慣の定着」または「メンタルヘルス対策」を選択した新規宣言事業所数						
						目標値	900件	R 6 150件	R 7 300件	R 8 450件	R 9 600件	R10 750件	R11 900件
						実績							
取組の目的 及び具体策		「運動習慣の定着」「メンタルヘルス対策」の取り組み項目の中から、いずれかを選択する新規健康宣言事業所を年度で150件ずつ増加を目指す。 ①当支部は令和4年度の運動習慣要改善者割合が全国で男性44位、女性35位。また睡眠で休養が取れていない者の割合が全国で男性43位、女性36位。睡眠不足はメンタルヘルス不調が契機となっている可能性がある。運動習慣改善及びメンタルヘルス対策に向けた取組を県内に広く普及するため、広報誌やメルマガ及びホームページ等を活用し情報提供を行う。 ②基本モデルの取込みは完了しており、より実効性のある取り組みとすべく県及び産業保健総合支援センターと連携し運動習慣改善及びメンタルヘルス対策に向けた取組を実践する。											
今要 後の 因検 証策・	R 6	【要因検証】新たに「運動習慣の定着」「メンタルヘルス対策」に取り組む宣言事業所数が92件増加。毎月新規健康宣言事業所に向けて文書勧奨を実施（上期 3,616件）し、岐阜支部の特徴として運動不足と睡眠不足の傾向があること、また①の取組を実施することで増加に繋がったと考えられる。 【今後の対策】「運動習慣の定着」「メンタルヘルス対策」に取り組む宣言事業所数を増加に向けて、文書勧奨を継続。②の産業保健総合支援センターと協定を結び、メンタルヘルス対策としてセミナーなどを実施予定											
	R 7												
	R 8												
	R 9												
	R10												
	R11												

No.		コ　　－　　2	アプローチ 方法		実施年度 (期間)	～						
取組名称					評価指標							
					目標値		R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11
					実績							
取組の目的 及び具体策												
要 因 の 検 証 ・ 今 後 の 対 策	R 6											
	R 7											
	R 8											
	R 9											
	R10											
	R11											